



永福学園通信

令和4年9月30日

R4 第5号

東京都立永福学園
校長 緒方 直彦



両部門が連携した図書室の整備（本校の自慢）



前期も終わり、明日からはいよいよ本年度のまとめ等を行う後期となります。今回は、永福学園の学園自慢について、肢体不自由教育部門と就業技術科から記事を掲載いたします。

私からは、夏季休業中に両部門（肢体不自由教育部門・高等部就業技術科）の教員が連携して図書室の整備に当たったことについて紹介します。今年度の学校経営計画に「図書室（コーナー）を有効活用した読書活動の促進」を示しています。そこで、両部門等の教職員によるPT（プロジェクトチーム）を編成し、図書室整備・管理等の専門家も招聘して整備計画を立て業務を進めてきました。経営企画室の職員による必要な物品の調達や書棚の撤去、両部門教員による新たな図書の整備等を本当に熱心に取り組んでくれました。さらに、教職員だけでなく、就業技術科の専門教科、ビルクリーニングコースによる丁寧な清掃、ロジスティクス（物流）コースの生徒による廃棄図書の梱包、移動も行われ、今後は、新しい本にブッカーを貼る仕事などにも取り組む予定です。

また、今後の図書室を活用した校内交流の充実に関しても、大塚ろう学校永福分教室と肢体不自由教育部門との交流や、就業技術科福祉コースの生徒による幼児・児童への絵本の読み聞かせなど図書室を活用した取組のアイデアが数多く出てきました。

そして、9月20日に「オープニングセレモニー」を開催し、本格的な図書室を活用した新たな教育活動が始まりました。リニューアル前と後の様子は、ホームページに掲載します。さて、ここで永福学園自慢を2点したいと思います。第1点目は、本校教職員の連携です。経営企画室も含め本事業においては本当に多くの教職員が協力して進めてくれました。それは、無駄なスペースをなくして有効活用し、児童・生徒のために図書室を活用した教育活動を充実させようとする想いがあったからだだと思います。本年度学校経営計画の重点テーマは「ひとつの学校～One school! One team!」ですが、まさにそれを実践する結果となりました。そして2点目は、新たな図書室（コーナー）とそこでの教育活動です。学校は一つの社会です。校内のリソースを十分に活用し、実社会を想定した学習や校内交流の充実を図って参ります。

保護者の皆様、学校にお立ち寄りの際は、新しい図書室（コーナー）をぜひご覧になってください。

校長 緒方 直彦

【学校評価に関するお願い】 多くの保護者の方々から評価や御意見をいただき、来年度の学校運営に活かしてまいりますので御協力よろしくお願いたします。（10月実施）

【メディアによる本校の紹介】 就業技術科の授業などの取組について放送されます。

○番組名：テレビ朝日「東京サイト」（関東地区にて放送）

○日時：令和4年10月7日13時45分から13時49分まで

○放送終了後も番組ホームページで6か月ほど観られます。どうぞご覧ください。



One school!! One team!!



肢体不自由教育部門自慢 就業技術科自慢

【肢体不自由教育部門】

僕は、中学部から永福学園に通っています。現在、高等部2年なので、約5年間通学している中で永福学園の良い所をいくつか紹介します。

まず1つ目は、優しく面白い教職員の方々がたくさんいることです。初めて学校に来た時は少し緊張しましたが、先生や学校介護職員さんにたくさん話しかけてもらい、すぐになじむことができました。

2つ目は、授業がグループ分けされていて、自分の障がいに合わせて学ぶことができます。僕のCグループでは、最近はパソコンを使う授業も増え、将来に向けて頑張っています。

3つ目は、スクールバスが充実していることです。基本的に家の近くまで来てくれます。僕は高等部になってからバスポイントまでの一人通学をしていて、4分間くらいの短い距離ですが、自立に向けて取り組んでいます。

4つ目は、給食が美味しい～です。栄養士さんがいつもバランスの良い献立を考えてくれます。僕のお薦め No.1 は「ミートボールカレー」です。肉々しくてとても美味しいです。デザートもよく出るところが自慢です。

5つ目は、スポーツ競技部があるところです。競技は、「ハンドサッカー・ボッチャ・陸上」があり、いろいろなスポーツを経験できます。みんな大会に向けて頑張っています。技術だけでなく、チームの団結力やコミュニケーション力も学ぶことができます。学年・学部関係なく友達とも会えるので楽しいです。

コロナ禍になってから僕たちの学校生活もだいぶ変わってしまいました。たくさんの行事が中止になり寂しくもありましたが、先生方がいろいろ工夫してくださり、代替活動などを行って楽しく面白く学校生活を過ごせています。

残りの学生生活も先生方や友達とたくさん楽しい思い出を作りたいと思っています。

肢体不自由教育部門 高等部2年A組 大越 匠

【就業技術科】

誠心誠意何かをしたときに、「ありがとう」と言われることが喜びです！

～ありがとうと言われて嬉しかったのはこんなこと 3年生～

- ◎食品コース：カフェにいらしたお客様を店の外へお見送りして「ありがとう」と言われたとき
コーヒーを出して「おいしいコーヒーをありがとう」と言われたとき
- ◎福祉コース：現場実習で、頼まれた仕事をしっかりやって「ありがとう」と言われたとき
利用者様の手伝いで「いつも笑顔で助けてくれてありがとう」と言われたとき
家の手伝いをしたとき
- ◎ロジスティクスコース：現場実習で、郵便物を届ける業務をした際に、社員の方々に「ありがとう」と言って受け取ってもらえたとき
- ◎ビルクリーニングコース：校内清掃をして、先生や生徒の皆に「ありがとう」と言われたとき
校内を美しく保ち、皆が学校を気持ちよく使えることが、私たちの喜び
- ◎事務コース：依頼業務が終わって、依頼者に「ありがとう」と言われたとき
人の役に立てたとき
リサイクル回収時に、「いつもありがとう」と言われたとき

「ありがとう」を素直に喜ぶことが、永福生の「誇り」、ちょっと自慢です

東京都立永福学園

○肢体不自由教育部門

副校長 秋本 友美 小松 弘喜

主幹教諭 池田 佳信

○就業技術科

副校長 山崎 裕之

主幹教諭 土田 律子



〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

ファクシミリ 03-3323-1381

ホームページ

<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>